

令和3年度定時評議員会議事録

公益財団法人東京都農林水産振興財団

令和3年度定時評議員会 議事録

- 1 日時 令和3年6月28日(月)午後2時00分～午後3時00分
- 2 場所 東京都立川市富士見町3丁目8番1号
(公財)東京都農林水産振興財団立川庁舎 講堂
※ Web会議システムによる出席者は、自宅・職場等の各会場から出席
- 3 評議員の現在数 15名
- 4 出席要件 8名
- 5 出席評議員の数及び氏名 10名 城田 恆良 (※)
青山 侑 (※)
福田 珠子 (※)
渡辺 昭 (※)
小暮 実 (※)
坂本 義次 (※)
山巻 毅
小金井 毅
渡邊 俊夫
松川 敦 (※)
- 6 出席理事の数及び氏名 2名 岩瀬 和春 (理事長)
村上 ゆり子
- 7 出席監事の数及び氏名 2名 大森 淳子
傳田 純

※は、Web会議システムによる出席
- 8 議長 小金井 毅
- 9 議事録署名人 渡邊 俊夫
松川 敦
- 10 議題
報告事項 令和2年度事業の報告について
決議事項 第1号議案 令和2年度決算の承認について

11 会議の概要

(1) 開会

進行役を務める猪口管理課長が、評議員会の開会を宣言した。

(2) 定足数報告

議事に先立ち、管理課長が出席状況を述べ、定款第 23 条に定める定足数を満たしていることから、本評議員会が成立していることを報告した。

(3) 開会挨拶

開催にあたり、岩瀬理事長が以下のとおり挨拶を述べた。

(岩瀬理事長)

本日は新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の期間中につき、オンラインを中心とした開催といたします。

長きに渡る新型コロナウイルス感染症の影響で社会に長い閉塞感が漂い、生産者・事業者・消費者の多くが、景気回復の遅れに不安を感じています。農畜水産業の分野では、高密度を避ける生活様式の常態化が需要に大きな影響を及ぼし、林業分野では、今般のウッドショックにより、国産木材の価格高騰や流通量の減少などの影響が懸念されています。

こうした中、財団では引き続き、関係団体と連携し、東京の農林水産振興に向けた着実な事業推進と、それらを実現するための体制づくりに取り組んでまいります。

本日は、昨年度の事業報告と決算について審議いただきます。また、「東京都政策連携団体経営改革プラン（2021 年度～2023 年度）」と「財団中期計画」についても報告いたしますので、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

(4) 議長の選任及び議事録署名人の選出

定款第 22 条の規定に基づき、出席した評議員の互選による議長の推薦を求めたところ、「事務局一任」の声があった。事務局として小金井評議員に依頼したところ、小金井評議員が承諾し、議長に就いた。

続いて、定款第 27 条第 2 項の規定に基づき、議長の他に 2 名、議事録署名人の選出を問うたところ、「議長一任」の声があり、議長は渡邊評議員、松川評議員を指名し、両評議員が承諾した。

(5) 報告事項 令和 2 年度事業の報告について

議長は理事長に対し、報告事項について説明を求め、渡辺事務局長が配布資料に基づき、説明を行った。

続いて、議長が評議員に対し、質問及び意見を求めたところ、質疑等はなく、報告の通り了承された。

(6) 決議事項 第 1 号議案 令和 2 年度決算の承認について

議長は理事長に対し、第 1 号議案について説明を求め、事務局長が配布資料に基づ

き、説明を行った。

次に、議長が監事に対し、監事監査の結果について報告を求め、大森監事が「監査報告書」を基に、事業報告、計算書類及び附属明細書並びに財産目録等が適切に処理されている旨を報告した。

続いて、議長が評議員に対し、質問及び意見を求めたところ、質疑等はなく、承認について挙手を求めたところ、全員より挙手があり、第1号議案は原案のとおり承認された。

以上をもち、決議事項に対する審議を終了した。

審議終了後、議長が評議員に対し、本日の議事全般について質問及び意見を求めたところ、下記の質疑応答があった。

(青山評議員)

地球温暖化対策推進法の改正を受け、各分野でゼロエミッションの実現に向けた対応や検討が進められている。この実現に向けて、農林水産業の貢献度は非常に高いが、IPCCなどは農業、特に畜産等に対し、好意的ではない計算方法を推進してきた。そうした意味からも、調査研究結果の発信など、財団の試験研究機能は今後の東京の農林水産業にとって大変有意義なものになってくるので、ぜひ頑張ってください。

(村上理事)

農林水産業は二酸化炭素の排出量が非常に多いと言われることがあります。そうした中、消費地の近くで生産することによる輸送コストの削減等、省エネ技術の開発や、地産地消の低エネルギーを活用した栽培技術の確立に向け、研究を進めています。

二酸化炭素排出量の削減に向けた研究として、後ほど、太陽光エネルギーを活用した取組を紹介いたします。

さらに意見・質問を求めたところ、他に質疑等はなく、議長は本日の評議員会への協力に感謝を述べ、議長を降りた。

(7) 閉会

閉会の前に、4月以降の財団の動きとして、事務局長より「財団経営改革プラン」と「財団中期計画」について、武田農業支援課長より伊勢丹立川店と連携した「都産都消マルシェ」の取組について、石城森の事業課長より伐採・搬出技術者育成事業「東京トレーニングフォレスト」と共存共栄による国産木材の魅力発信事業「MOCTION」について、宮崎スマート農業推進室長より東京型スマート農業における6つの研究開発について、それぞれ配布資料に基づき説明した。

事務局からの報告及び財団運営全般について質問及び意見を求めたところ、特に質疑等はなく、管理課長が評議員会の閉会を宣言した。

以上、相違ないので、記名、捺印する。

令和3年6月29日

議 長 小 金 井 毅

議事録署名人 渡 邊 俊 夫

議事録署名人 松 川 敦